

海と空に開かれた「開の国」へ

# 中部横断自動車道

E52 CHUBU ODAN EXPWY

中部横断自動車道開通記念 リレーシンポジウムレポート

中部横断自動車道の山梨-静岡間全線開通を記念し、山梨県は県内の企業・団体からさまざまな分野のパネリストを招き、開通に伴う効果や企業戦略、今後の展望などを意見交換するシンポジウムを開きました。産業、観光、防災などをテーマに、たくさんのご意見をいただきました。

## 中部横断自動車道 山梨・静岡間2021年8月全線開通



山梨県では、長野県とつながる中部横断自動車道・長坂JCT (仮称) 以北の早期整備を国に対して強く働き掛けてまいります。

山梨・静岡間の開通により、山梨県は海(清水港)と空(富士山静岡空港)に大きく開かれました。残る長坂JCT (仮称) 以北の整備により、さらに日本海(新潟港)にも直結することとなります。早期事業化に向けた沿線地域の期待が高まっています。

山梨県県土整備部高速道路推進課  
TEL 055-223-1690



山梨・長野県両知事と中部横断自動車道北都区間 広域連携部会による要望(2022.7) | 中部日本横断自動車道建設促進同盟会による要望(2022.11) | 沿線3市長から早期整備の要望書を受け取る 長崎幸太郎知事 | 長野県松本市で開催された 2022ROUTE日本海-太平洋シンポジウム



全4回開催したシンポジウムでは、たくさんの開通効果を実感するご意見、  
また、開通を生かした取り組みへの意気込みなどを伺いました。

物流業



運送・倉庫業  
富岳通運(株)  
総務・運輸安全  
マネジメント事務部長  
小原 春人氏



運送業  
鈴木カーゴネット(株)  
甲府支店甲府営業所支店長  
竹村 基史氏



販売業



総合小売業  
(株)オギノ  
物流部総務マネージャー  
新藤 和仁氏



製造・販売業  
(株)シャトレーゼ  
物流部長  
原 晃彦氏



防災関連



道路管理者  
国土交通省  
関東地方整備局 道路部  
交通連携課長  
田中 満氏



出典：2006年度国土交通省 国土技術研究会資料



学者  
山梨大学  
地域防災・マネジメント  
研究センター 准教授  
森 康範氏

1分1秒の時間短縮が  
災害時の救命率に  
大きく影響

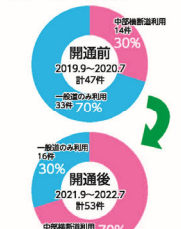
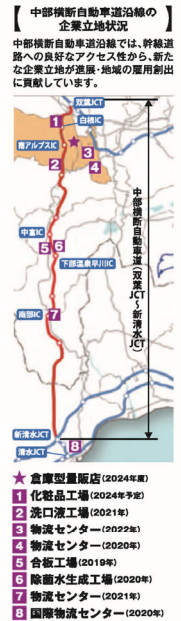


災害救援  
NPO法人  
災害・ボランティア未来会  
代表  
山下 博史氏

未来会  
医療救援



道路管理者  
日本高速道路株式会社  
甲府支社  
甲府保安・サービスセンター  
所長  
吉田 英明氏



観光関係



旅行業協会  
山梨県旅行業協会  
総括理事  
半田 初幸氏



一般道の通行止めによるリスクが軽減した  
静岡、愛知、北関東からの来訪、修学旅行客増加



施設業  
清泉寮  
営業企画部長  
武川 尚志氏



道の駅  
道の駅 富士川  
支配人  
居村 一彦氏



アクセス性の向上により  
周辺地域の周辺観光が容易に  
地域全体の魅力発信に取り組む



宿泊業  
下部ホテル  
代表取締役社長  
矢崎 道紀氏



【中学校の  
修学旅行先  
上位10位】

中学校の修学旅行先として山梨が注目されています。中部横断自動車道の山梨-静岡間全線開通で、関西方面の学校も数多く来県しているようです。

順位	2020年度
1	京都
2	奈良
3	山梨
4	北海道
5	長野
6	三重
7	栃木
8	静岡
9	岩手
10	長崎

順位	2019年度
1	京都
2	奈良
3	東京
4	大阪
5	千葉
6	沖縄
7	広島
8	神奈川
9	長崎
10	福岡

※日本旅行協会の資料に基づく

農業



NXアグリGrow(株)  
代表取締役 諸井 奈美氏

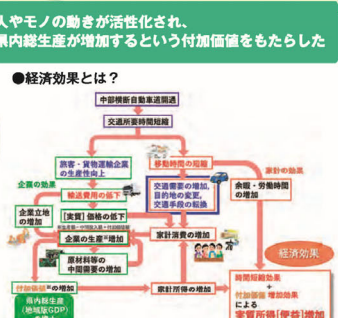


輸送時間が圧倒的に短くなり、  
農作物の出荷エリアが  
関西・中京圏へと拡大する可能性

有識者



山梨大学  
地域防災・  
マネジメント  
研究センター  
教授 武藤 慎一氏



沿線市民



山梨総合研究所調査研究部長  
山梨県立大学特任教授  
佐藤 文昭氏

いち早く病院に行けて命が助かる  
地域住民にとってはまさに  
「命の道」ができた

南アルプス女性みちの会  
会長  
長澤 よし子氏

経済同友会



山梨経済同友会中部横断部会  
部会長  
五領田 周司氏

取引企業数や売上高が増加していて、  
山梨経済のさらなる発展に向けた  
環境整備が重要

コーディネーター



山梨総合研究所調査研究部長  
山梨県立大学特任教授  
佐藤 文昭氏

●広域物流拠点としての山梨県のポテンシャルが向上  
中部横断自動車道開通により  
●地域観光の取り組み拡大を後押し  
●道路の信頼度が向上し、利用者に安心感をもたらす

「高速道路の効果を最大限に活用し、持続可能な地域の未来へ」

●道路をどう活用し、いかに持続可能な地域にしていけるかについて、  
私たちが描いていくことも重要ではないか。

●中部横断自動車道を使って訪れるいろんな人、ここに住んでみたいなど  
思ってもらえる魅力あふれる地域のストーリーを、みんなで伝えていきたい。

※シンポジウム(全4回)の詳細につきましては、山梨県高速道路推進課のHPに記載しています。  
YouTube「山梨チャンネル」にてシンポジウムの動画配信

